

## 30.5.11 読売新聞

### シャチ飼育史紹介 鴨川シーワールドで講座

鴨川市の水族館「鴨川シーワールド」は今年18日の国際博物館の日を記念し、今年20歳になった雌のシャチ・ラビーを中心にとした40年以上にわたる同館のシャチ飼育史を紹介する「シャチ ものしり講座」を、12日から3回開催する。

同館は1970年のオープンからシャチを飼育。一時中断したが、98年に国内で初めて繁殖に成功してラビーが生まれた。ラビーは2頭を出産し、自らも水族館生まれのシャチとして国内最高齢を更新している。

国内でシャチを飼育するのは

同館（4頭）と名古屋港水族館（3頭）だけで、鴨川シーワールドの高い飼育・繁殖技術から、シャチは同館のシンボリック

存在になっている。

講座は12、13日（午後1時）と18日（正午）の3回。貴重な記録写真や映像を交えながら、シャチトレーナーが解説する。受講は無料だが、入園料が必要。



ショーでジャンプするシャチ  
(鴨川シーワールド提供)